

◆総領事からの活動報告(4月前半)

2012年4月12日
在マイアミ日本総領事
川原英一

1) 日系米国人リーダーとして訪日したシャノン・ホリさん

4月6日、当地CBS系TV局アンカーウーマンのシャノン・ホリさん(写真、右から二人目)が、日系米国人リーダー招聘プログラムにより3月に訪日されましたので、同じ日系米



国人リーダー事業で過去訪日したことのあるホセ・フエンテスさん(写真の左側二人目)、医師のカレン西田さん(同三人目)と共に訪日の印象を聞く機会を設けました。シャノン・ホリさんは、今回初めて訪日されたのですが、これまでは、日本は遠いという印象であったのが、実際に訪日してみて、これから、何度も行ってみたいという気持ちに大きく変わりました、と感想を述べておられました。

訪問先の一つである石巻市では、被災民から直接にお話を聞けてとても印象深かったこと、日本の航空機や新幹線を利用した際には、乗務員の乗客への対応振りがとても素晴らしかったこと、東京では、高円宮妃殿下とのご接見、野田総理、及び玄葉外務大臣ともお会いできた、与野党議員先生や企業代表の方々などとの懇談があったと楽しく印象を語っていました。

日本との姉妹都市関係についての質問があり、当方から、地元マイアミ市と鹿児島市、マイアミビーチ市と藤沢市など、フロリダ州内で10の都市・州との姉妹関係があり、その多くで、活発な交流を毎年している、とお話したところ、興味を持たれた様子でした。

2) 東日本大震災復興写真展(州立フロリダ国際大学図書館)



4月9日、フロリダ国際大学(FIU)のグリーン・ライブラリーの正面スペースに昨年3月の大震災からの復興を見せる写真ギャラリーのオープニングがあり、ローゼンバーグ大学総長、図書館部長、大学教職員などが見守る中で、テープカットが行われました。

これに先立つ挨拶の中で、当方より、米国を初めとする世界各国から多くの支援が差し伸べられとことに感謝



を申し上げ、被災地では、被災者の方々が大変な困難と悲しみの中で、地域として連帯して規律ある行動をなされたことやインフラ復旧が迅速に行われた結果、一部地域を除き、通常どおり、ビジネス・観光が世界に開かれたものとなっていること、日本は、歴史・文化資産が豊富であることなどお話をし、大学総長からは、写真ギャラリーについて、心のこもる感謝の言葉を頂きました。同大学は、生徒数4万8千人以上であり、州立大学の中では最大規模の大学です。

3) マイアミ大学医学部教職員と鹿児島大学・日大医学部学生達との交歓会

4月11日、日本の大学の医学生・研修医が研修先としてお世話になっているマイアミ大学医学部の先生方約20名をお招きして、同大学病院で研修中の短期(1-2か月)・長期(1年間)の日本人医学生20名との交換会を公邸で行いました。

当地マイアミ大学医学部は、毎年、鹿児島大学医学部、及び日大医学部の学生の研修受け入れを同大学と提携している州立のジャクソン記念病院で行っております。この病院では内臓移植や救急外来患者件数が非常に多くて、経験豊富な病院ということで注目をされています。



鹿児島大学からの医学部学生の受入れの歴史は長く、1992年11月に交換学生のパートナーシップ協定を両大学学長間で締結して以降、20年近く、毎年交換学生の受入れが続いています。同大学医学部で当初から日本の交換学生の受け入れを見ておられるジョン・バーンズ教授(左写真)によれば、日本からの医学生や研修医は抜きんでて優秀な人が多く、他

方、マイアミ大学医学部生が少し見劣りしているのではないかと思うほどで、学生達に良い刺激を与えているとの感想を述べられ、今年6月には、鹿児島大学の招待により御夫妻で訪日できることを楽しみにしていると語っておられました。

日本人学生達からは、日頃、ご指導頂いている先生方へ感謝を示そうと、バイオリンやピアノ演奏、空手などを披露してもらい、先生方からは、学生達の多彩な能力に感嘆の声が上がりました。当方からの御挨拶の中で、昨年3月11日の東日本大震災発生後、米国内で最も眼科研究が進んでいる同大学(バスコン・パルマー)眼科研究センターから東北地方に眼科診療大型バスを空輸してもらって、被災地での眼科治療に大いに利用されたことなどお話を致しました。



4. エンタープライズ・フロリダ(フロリダ開発公社)メンシア上級副総裁との懇談

4月2日、メンシア上級副総裁(写真右から二人目)をお招きして懇談をする機会がありました。今年9月中旬に日本で開催される日本・米国南東部会の共同会合について、準備を進めていること、同会合後には、フロリダ州独自の企画を日本で実施を検討しており、今後、同公社スウープ総裁が当方に相談をしたいとお話がありました。昨年夏、当方から日系企業駐在員の自動車免許更新期間の見直しを働きかけたことに関連して、州商工会議所・州議会でのその後の対応・進捗ぶりについての興味深い説明もありました。また、スコット・フロリダ州知事を団長とする経済ミッションが、昨年には、フロリダ州の最大貿易相手国であるブラジルを手始めに、カナダにも派遣されたこと、今後、コロンビア、スペイン、ロンドンへの経済ミッション派遣を予定していること、ブラジルへのミッション派遣後、ブラジル航空産業関連を中心に、フロリダへの投資が進みつつあるとお話もありました。(了)

